News of The Japanese Weekend School of New York

BIG APPLE

ニューヨーク補習授業校
56 Harrison St. Suite204
NewRochelle,
NY 10801　　U.S.A.
Tel:(914)636-3770
Fax:(914)636-7476
平成26年　4月18日　No.2
発行責任者：校長　櫻井郁男

新しい年度を迎えて　(2)

4月5日、両校で入園・入学・始業式が挙行され、第2回授業日では1週間ぶりの出会いを喜ぶ笑顔であふれました。この日、W校ではロックダウン訓練を実施いたしました。(LI校では火災を想定した避難訓練を19日に実施します。)

訓練が終了した直後、教室で厳しい指導をした教員がおりました。訓練中に「ひそひそ話」をしていた児童数名に注意を促したにもかかわらず、指示に従わなかったからです。この教室に逃げ込んでいた私は、普段は温厚でにこやかな先生の毅然とした指導に、子供たちを守ろうとする教師の姿を強く感じました。



LI校　初等部新入生

人は「まずいこと」と「悪いこと」をすることがあります。「まずいこと」に気付かせ「悪いことは許さない」姿勢を貫いていくことが大切との認識を改めて確認しました。

12日は、学力テストも実施いたしました。このねらいは昨年度との比較により、一人一人の学力の伸びと、学習定着状況を確認し、指導の参考とするものです。したがって学年初めに実施することに意味があります。しかし、避難訓練と同日に実施する(テスト後の訓練でしたが)ことには、課題もあり次年度計画の策定時には検討いたします。

また、学力テストを受けるにあたって「特別な支援を要する場合に配慮いたします」との通知を差し上げましたが、本校は皆様のお子さんが通学している「現地校」と**同様の「対応」**は出来かねる事情については、「入学のしおり」をご覧ください。なお、状況が許す限り、次年度も「配慮」することを申し添えます。

年度当初のお問い合わせについて

・第10回授業日について

・・・LI校は6月7日(土曜日)　**W校は6月8日(日曜日)です。**これは借用校の事情によるものです。

・教育相談員とは

・・・子供が直面する諸問題について担任や保護者に助言をする教育学や心理学について特別な訓練を受け知識・資格を持った専門家です。学校生活での課題を克服するための支援をします。また幼児部及び1年生の前期頃までに、本校に入学・転入学を希望する園児・児童の入園・入学許可に関与します。

本校には「スクール・サイコロジスト(学校心理士)」として、バーンズ相談員が勤務しております。

また、ニューヨーク教育審議会傘下の4校には「クリニカル・サイコロジスト(臨床心理士)」として森相談員が勤務しております。

日本でも近年、上記の資格を持った方々がスクールカウンセラーとして配置されるようになってきました。少々古い情報ですが、わかりやすい説明があります。ご覧ください。

http://schoolpsychology.jp/about/message.html

・派遣教員の減員について

・・・本校(近隣では、ニュージャージー補習授業校)は「文部科学省からの派遣教員」が在籍する学校です。(同様な教育活動をしている学校もありますが、文部科学省からの派遣教員はおりません。)

派遣教員の最も大切な職務は「よい授業を提供する」ために、先生方への教育指導上のアドバイスをすることです。派遣教員の人数は基準があり、本校は従来から、2名派遣の対象校でありました。これまでは、離れた2つの学校での運営という実情が理解され、「3名派遣」が続いてきました。しかし、アジア地域の児童・生徒数の激増により、派遣教員数の精査により、今年度からは基準通りの派遣人数となりました。

このことに対応するため、教育審議会・教育管理委員会は、両校の実情を踏まえ、延長任期が満了した山本教頭の後任として、柳沢主幹（W校での教育指導は通算20年余）を採用しました。

したがって、LI 校では荒井教頭、W 校では柳沢主幹が学校運営に当たることになります。

W校の児童・生徒そして保護者の皆様におかれては、柳沢主幹が山本教頭同様の職務をするとご理解ください。なお、教育指導上の専門的な関与については、派遣教員の職務となっております。また、昨年度までは在籍数も考慮しつつ、LI校とW校に交互に勤務していた校長は、今年度、W校勤務日が多くなることをご理解ください。

なお、小学部の学習指導のため、荒井教頭が W 校にて勤務する日もございます。この場合は校長が LI 校勤務となります。



W校中学部1年生

派遣教頭減による影響を極力減らすため、教育活動の厳選とともに、一層のご協力をいただくこともございます。主な内容は下記の通りです。どうぞご理解ください。

・ペーパーレス化の強化（昨年度は 100000 枚の削減・・・コスト減は用紙・印刷経費だけではありません）
・漢検の会場提供を年間 1 度とする。（今年度は 1 月）
・年末年始のお餅つきの回数減・七夕の笹の本数減
・海外子女教育振興財団主催の作文コンクール（参加部門精選）
・「書初め大会」を「書初め授業」と名称変更（教育活動としては変更なし）
・校内作文集の精選（校内作文コンクールの充実）

上記の諸教育活動を見直す際には、本校の教育目標と照らし合わせたことを申し添えます。

・・・お知らせ・・・

※代理教員・教務補佐の募集をしております。NR事務所までご連絡下さい。

昨年度より学習時間の有効活用を主な目的として、配布文書の精査と削減に務めております。その一環としてこの（Big Apple）もホームページにてご覧下さい。

経費削減と省資源についてもご理解ください。